

各地区の学校配置等に関する基本的な方向性

(各地区部会報告より取りまとめ)

1 学校配置等の方向性

		東青	西北	中南	上北	下北	三八
中学校卒業予定者数の増減	H29.3	2,907人	1,362人	2,549人	1,954人	692人	2,879人
	H39.3	2,193人	847人	1,843人	1,457人	505人	2,346人
	増減	△714人	△515人	△706人	△497人	△187人	△533人
全日制課程の学級数の増減 (H29~H39 見込み)		△13~15学級	△8~10学級	△9~11学級	△10~12学級	△3~5学級	△6~8学級
全日制課程	重点校	設置	設置	設置	設置	設置	設置
			学校規模は柔軟に対応 単位制を検討			学校規模は柔軟に対応 単位制を検討	
	拠点校	工業科 商業科	農業科	工業科	農業科		工業科
	総合学科	引き続き配置	引き続き配置	設置は求めない	引き続き配置	引き続き配置	設置は求めない
	異なる複数学科を有する高校	要検討 (学科の選択肢・学校規模の確保)	要検討 (学科の選択肢・学校規模の確保)	要検討 (学科の選択肢・学校規模の確保)	要検討 (学科の選択肢・学校規模の確保)	要検討 (学科の選択肢・学校規模の確保)	要検討 (学科の選択肢・学校規模の確保)
定時制・通信制課程		現在の配置を基本	現在の配置を基本	現在の配置を基本	現在の配置を基本	現在の配置を基本	現在の配置を基本
	(夜間定時制)			志願・入学状況を踏まえ地区全体の視点から検討			
	(工業科)	志願・入学状況を踏まえ検討		志願・入学状況を踏まえ検討			志願・入学状況を踏まえ検討
学校配置に当たっての留意点			五所川原市・つがる市に加え北津軽郡及び西津軽郡にも配置	弘前市・黒石市・平川市の三市に配置	十和田市・三沢市に加え上北郡にも配置	むつ市に加え下北郡にも配置	八戸市に加え三戸郡にも配置

2 第5回検討会議を踏まえさらに検討した項目

(1) 普通科等の重点校

さらなる検討を依頼された内容
<ul style="list-style-type: none">○ 各地区の重点校に求められる取組○ 重点校と重点校以外の学校との連携の在り方

各地区部会における主な意見
<p><重点校に求められる取組></p> <ul style="list-style-type: none">・ 重点校に求められる取組は、選抜性の高い大学への進学対応や医師等の高度な資格取得に向けた志を育成する取組だと考える。・ 重点校には、課題解決能力等を育成する特色のある学校を目指してもらいたい。・ 重点校は、大学進学を牽引する学校として期待される。・ 下北地区の重点校では、この地区に必要とされている医師や弁護士等、この地区の振興に尽力してくれる人財の育成への取組を期待する。 <p><重点校と重点校以外の学校との連携の在り方・期待される効果></p> <ul style="list-style-type: none">・ 生徒だけでなく、保護者や教員も連携し、双方のノウハウを共有する取組があると良い。・ 重点校以外の学校の志ある生徒も選抜性の高い大学への進学に対応した教育を受けられる環境が期待される。・ 重点校以外の学校においても、教科・科目の関係で希望する大学を受験できないということがないように、重点校の教員を派遣したり、遠隔授業を実施したりするなど、重点校の授業を共有することができれば、県全体の学力向上に繋がるのではないか。・ 重点校以外の学校に在籍する生徒が大学進学を希望する場合に、重点校の持っているノウハウを伝えることができる機能が必要である。・ 夏季休業中や冬季休業中に合同で行う講習等が考えられる。

(2) 職業教育を主とする専門学科の拠点校

さらなる検討を依頼された内容
<ul style="list-style-type: none">○ 各地区の拠点校の専門分野と期待する取組○ 拠点校と拠点校以外の学校との連携の在り方

各地区部会における主な意見
<p>＜拠点校に期待する取組＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 拠点校を中心にキャリア教育の充実を図ることが重要である。・ 拠点校は、施設・設備を整備し、幅広い学習に対応できる環境を整える必要がある。・ どのような取組においても核となる高等学校が必要であることから、県内に拠点校を設置し、拠点校以外の学校を牽引して欲しい。・ 拠点校は必要であり、専門学科に関する基礎的な教育を地域の高等学校に担ってもらいたい。そのことにより、人財や技術の流出が防げるのではないか。・ 拠点校には、企業で即戦力として働くことができる人財育成のための教育環境の整備が必要である。 <p>＜拠点校と拠点校以外の学校との連携の在り方・期待される効果＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 拠点校に設置されている学科の教育内容について、拠点校以外の学校で学ぶことができるよう、何らかの形で連携を図ることになるのではないか。・ 拠点校と拠点校以外の学校とが連携し、補完しながら地域を支える技術者を育成する必要がある。・ 生徒のことを第一に考え、教員同士の連携を密にして対応する必要がある。・ 拠点校が拠点校以外の学校と連携していくことを考えると、より専門性を高める教育を進めていくと良い。また、拠点校の取組を授業や長期休業を利用し広く示すようにすれば、中学生にも取組が理解されるのではないか。